

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和８年度第１回宮古市いきいきシルバーライフ推進協議会を次のとおり開催しました。

令和８年９月４日

宮古市いきいきシルバーライフ推進協議会

1 開催日時

令和８年８月２６日（水） 午後３時００分～午後３時５０分

2 開催場所

市民交流センター２階 多目的ホール

3 議題

(1) 第９期介護保険事業計画 令和７年度実績について

(2) 宮古市高齢者福祉計画・第１０期介護保険事業計画・認知症施策推進計画の策定について

(3) その他

4 会議の概要

別添のとおり

5 問い合わせ先

保健福祉部介護保険課管理係 電話０１９３－６８－９０８５

令和8年度第1回宮古市いきいきシルバーライフ推進協議会

1 出席者（14名）

豊島秀浩会長、大上敦子委員、上山ヤス子委員、田越圭子委員、中村大輔委員、松本勝徳委員、佐々木修委員、田澤範史委員、久保宮幸委員、吉水和也委員、加藤伸二委員、盛合理恵委員、波岡達彦委員、梶山康子委員

2 欠席者（3名）

沼里美幸委員、松本ゆかり委員、濱田剛委員

3 事務局出席者（5名）

保健福祉部介護保険課長 石垣達也

保健福祉部介護保険課管理係長 山崎寿子

いきいきライフ推進係長 八木愛美

地域包括支援センター所長 小笠原藍

管理係 主査 小松平佳江

4 傍聴者

1名

5 議事等

(1) 第9期介護保険事業計画 令和7年度実績について

第9期介護保険事業計画 令和7年度実績について事務局から説明し、承認された。

(2) 宮古市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画・認知症施策推進計画の策定について

宮古市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画・認知症施策推進計画の策定について事務局から説明し、承認された。

(3) その他

なし

質疑応答内容

質問・意見	回答
【議題(1)「第9期介護保険事業計画 令和7年度実績について」】 (委員) 交通安全対策の充実について具体的にお話したい (委員) 交通安全について発信するのは第一と思うが、高齢者がいかに受け取って実践するか、具体的に考えなければならないと思う。 (意見) (委員) 各事業所で色々な取り組みをしているが、来年度に向けて市への要望はあるか、外国人材はどのくらいいるのか、ロボット導入補助金を使ってどういう取り組みをしているか、教えてほしい。	(事務局) 委託している地域包括支援センターで、認知症カフェなどの地域での集まりを開催している中で、駐在署の方から講話いただいた。警察署と連携して、交通安全の意識を高める取り組みをしている。 (事務局) 市では随時物価高騰等についてアンケートを実施している。ものが入ってこないところはそれほどないが、価格高騰の影響が大きい。それに対する支援を求めるアンケート結果がある。実態を把握しながらできる支援を考えていきたい。 外国人材の受入れ状況については、7事業所12人の方が、技能実習や特定技能で勤めている。来年度、新たに雇用する予定がある事業所もある。 ロボット導入補助金の活用状況は、タブレットを入れて事務負担軽減をしたり、見守り機器とそれに伴うスマートフォンなどの付属機器を入れたり、給食の配膳者を更新して働きやすくするというような形で活用していると聞いている。 (事務局) 委員の皆さんから現場で使っているもの

(委員) ロボットに関して具体的に機器の導入を当施設でも検討している。スタッフの人材確保が課題で、見守り機器、センサーといった夜勤者への負担を軽減する目的の機器を検討している。 (委員) 企業説明会に行くと、国の基本的な考えは人員配置の効率化というか、負担の軽減というところが多い。例えば、バイタル状態、起きた寝たというデータが一括で集まり、夜勤の職員が定期巡回して睡眠を妨げないような配慮のため、機器を導入している施設も宮古市内にあるとは聞いている。	があれば教えていただきたい。 (事務局) 市では交通安全計画を、別の部署で作成している。その中で高齢者の交通安全の取り組みを記載している。今後、いただいたご意見を担当部署にもお話し、介護保険だけではなくて市全体で取り組み、警察署様と連携しながらできるようにしていきたいと考えている。 また、介護保険事業者とお話をしていく中で、利用者の確保が今後難しくなっていくのではないかというご意見等がある。 入所系の施設についても待機者の方がいるけれども、実際声掛けをすると入ってくださる方がなかなか見つからないというような状況にもなっている。今後高齢者も減少していく中で、いかに利用者を確保しながら事業を継続していくのかというところに不安を持っている事業者が増えてきている実情がある。(補足説明)
--	--

【議題(2) 宮古市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画・認知症施策推進計画の策定について】

(委員)

基礎調査に関して今回4つの調査をされているが、過去に同様の調査をやったことがあるか。

(委員)

過去の状況との推移と比較して今後の計画を立てていく必要があると思う。

過去の部分の比較がわかるような形で資料等いただきたい。(意見)

(委員)

障がい分野の方では次の計画の中で、高齢障がいの方を介護保険サービスにどう移行していくことができるのかを検討していく予定になっている。ぜひ介護保険の方でも高齢障がいの方の介護サービスへの移行の問題をどう進めていけば良いのか考えながら、計画に反映していただきたい。(意見)

(事務局)

過去にも同様の調査を3年度ごとの見直しのタイミングで行っている。

(事務局)

高齢になってきたときに困り感が障害の特性ではなくて、老化に伴う特性に切り替わる時期がある。

介護保険事業所についても、障害の特性の理解をできるような体制がつかれないかという話もあった。受け入れる方も経験がない中で、その方の生い立ちや、どういった特性があるかわからないと、支援をしていくのが難しい。障がい分野の方と、一緒に取り組んでいきたい。